

科目名	精神障害作業治療学特論	担当教員	松田 竜幸 泊り由希子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42ABDE	①、②、③、④					

科目概要	疾病性と事例性の混在する精神障害領域の対象者について、そのかかえている多層的な生活機能の諸点と作業療法支援の実際例から理解ならびに探求を深める。個々の症例を取り巻く状況は複合的な要因の相互作用によるため、一面的に終わらずに各々の生活機能の分析と関係性を踏まえることが必要である。対象者の意思、要望を踏まえた上で適切に作業療法支援を進めていくための段取りや考え方を身につけられるように進めていく。
学習目標	① 多層的な生活機能の諸点から作業療法の支援を理解する。 ② 包括的なアプローチの視点を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論・包括的視点 (1)生物学的視点	症例性と事例性、包括的アプローチ、生物学的視点からの治療や支援について	症例性と事例性、包括的アプローチ、生物学的視点からの治療や支援について理解する。	
2	包括的視点(2)心理学的視点	心理学的視点からの治療や支援について	心理学的視点からの治療や支援について理解する。	
3	包括的視点(3)倫理社会的視点	心理社会的視点からの治療や支援について	心理社会的視点からの治療や支援について理解する。	
4	ふりかえり	セラピスト自身の振り返りについて サービス提供者に望ましい要因について	サービス提供者に望ましい要因や各種のツールで項目を学び、自身についてふりかえって理解する。	
5	各種療法	精神科臨床に必要な各種療法について	各種療法について学び、体験し、理解する。	
6	コンパッション	感情とセルフコンパッションについて	感情の機能やコンパッションフォーカスとセラピーを体験し理解する。	
7	コミュニケーションと集団	コミュニケーションの深さと対人交流、ASDのコミュニケーション	コミュニケーションについて治療観点からのスキルを学び、理解する。	
8	コーピングスキル	ストレスへの気づきや対処方法について	ストレスについて学び、理解し、自身のコーピングリストを作成する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		講義中、講義終了後に質問を受け、回答する		
教科図書		教員作成教材		
参考図書		山根寛『精神障害と作業療法 新版』三輪書店、2017年 上野武治・編『標準理学療法・作業療法学 精神医学 第4版』医学書院、2015年 香山明美、他・編『生活を支援する精神障害作業療法—急性期から地域実践まで— 第2版』医歯薬出版株式会社、2014年 石井良和、他・編『精神障害領域の作業療法』中央法規、2010年 早坂友成・編著『精神科作業療法の理論と技術』メジカルビュー社、2018年		

学習の準備	予習：参考図書に目を通し、どういった事柄が重要視されているのか考える機会とする。(90分) 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学習、担当教員への質問の準備を行う。(90分)
オフィスアワー	松田竜幸：毎週水曜日 16：20～17：50。その他は、随時対応する。 泊り由希子：毎週月曜日 10：30～12：00。その他は、随時対応する。
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	